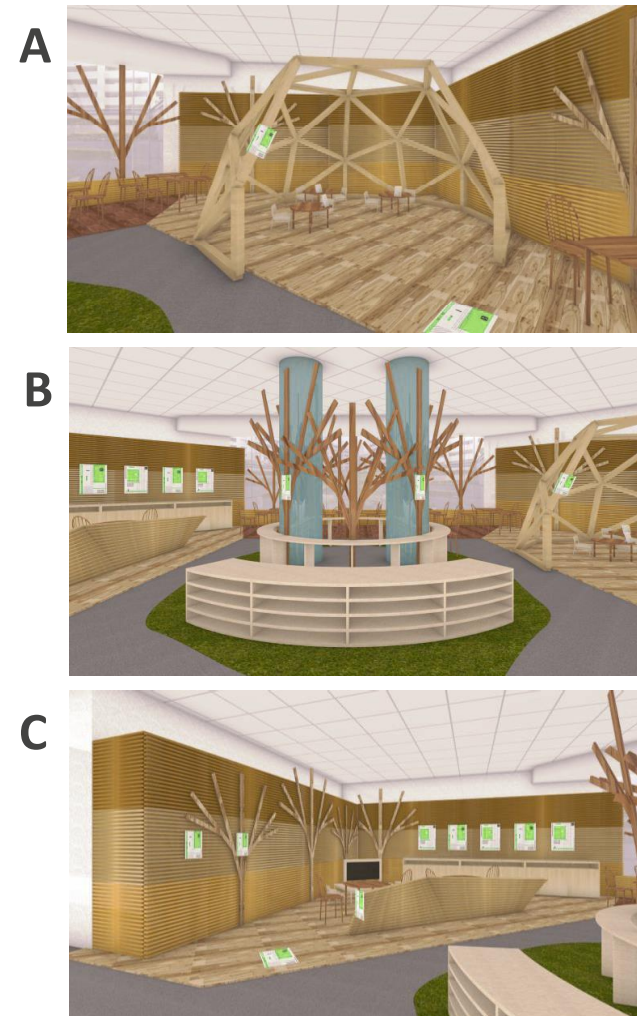
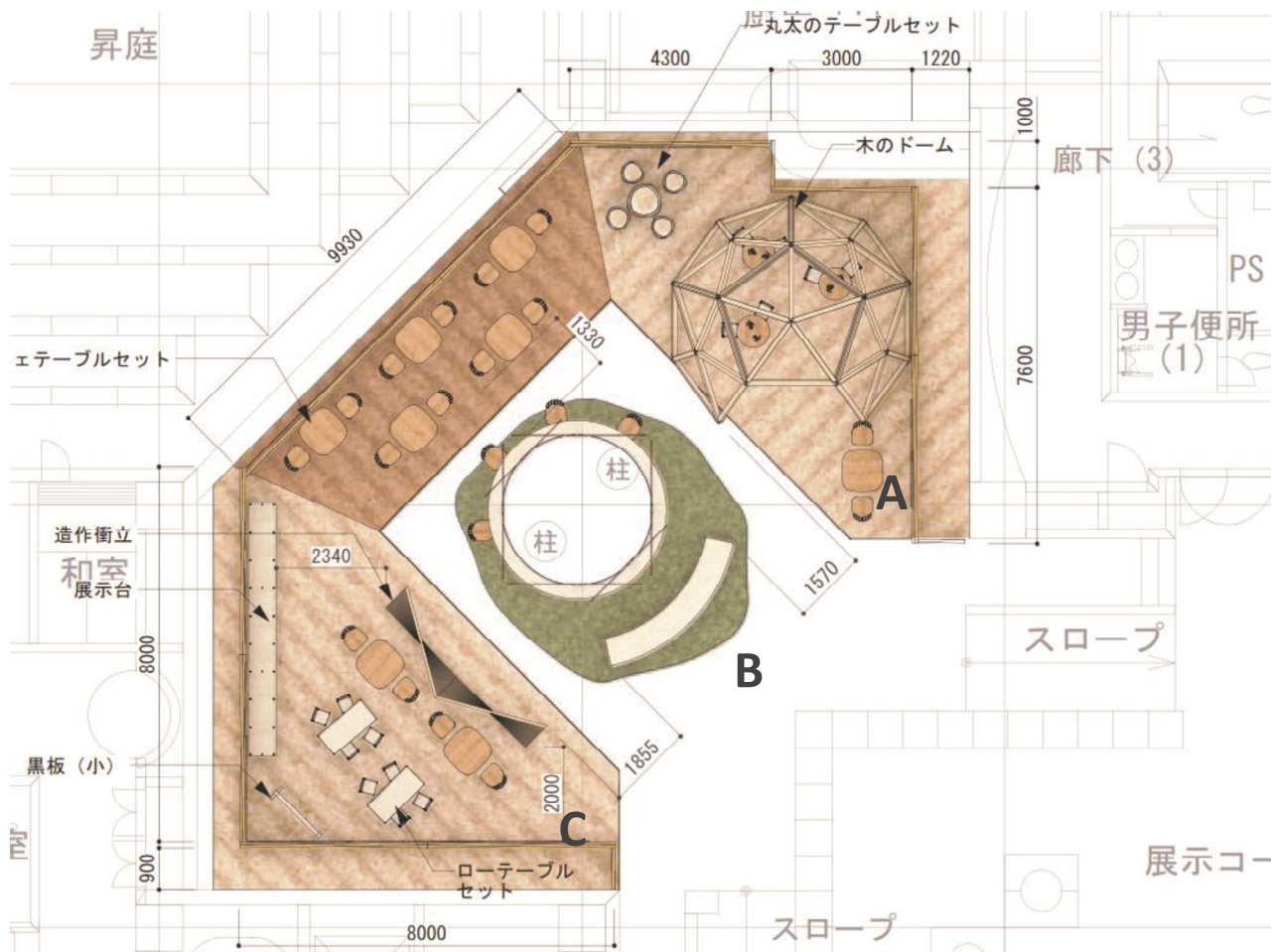


平面図&パース図

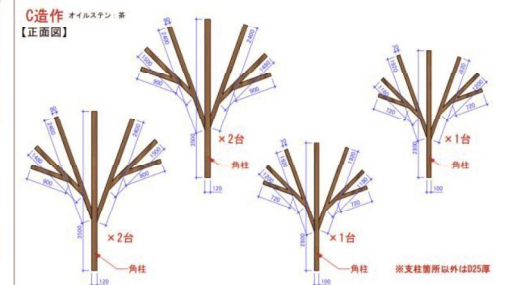
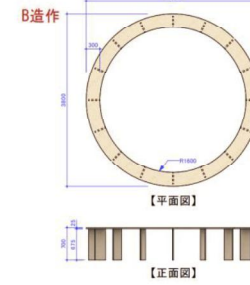
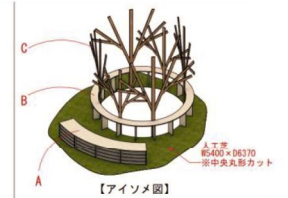
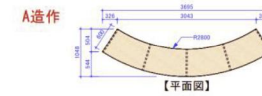


木質化空間



●中央造作

S-1/40 (A3)



木材を視覚的に感じてもらうために、木の形をした造作を全面に配置し、見ただけで、「これは木を使った展示なんだ」と思ってもらえるような森を表現しております。

前面部分のアーのかけた展示台では、木材を使った商品を陳列が可能ですが、また下部分はストックになっておりますので、木材関連の資料を並べたり、木材の本を置いてもらうこともできます。

床面は人口芝を敷き詰め来場者には足元から空間の変化を楽しんで頂けます。

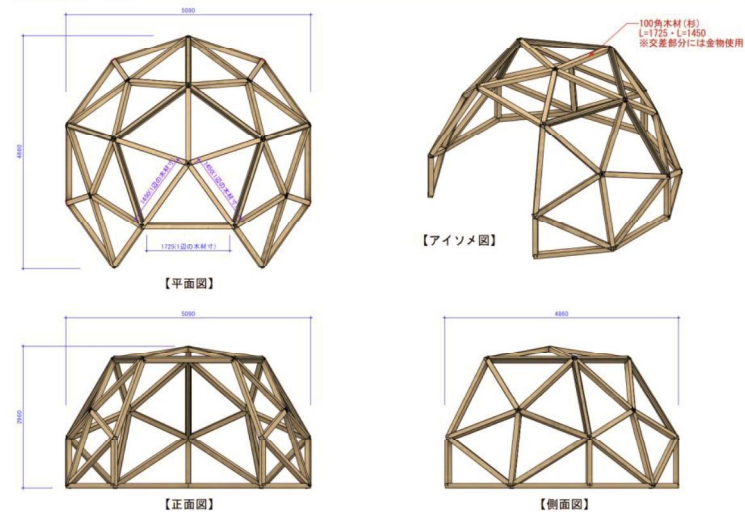
奥の大きな窓の前には、木製のカフェコーナーを多く配置し、木のおい手触りを感じて頂き、外の景観をゆっくり見ながらくつろいで頂けることで、市民の憩いの場としての価値を高めます。

木質化空間



●木のドーム

S-1/40 (A3)



展示空間のモニュメントとしての役割も持つ木製のドームを配置。
木製ドーム内の子供向けの休憩コーナーは木に囲まれた空間でくつろいで頂けます。

壁面は直線の木材を少しずつずらしながら幾重にも重ねて積み上げることで壁を実現。
下段、中段、上段で木材の加工方法を分けることで木材の質感や手触り、色の違いを
演出し来場者に木材の新しい気づきを創出します。

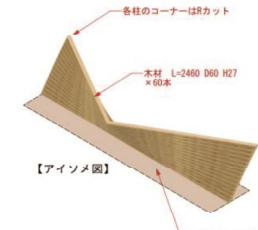
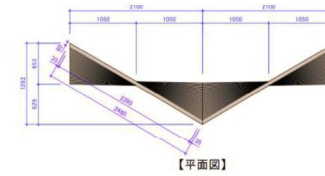
床面は木製の床材をしきつめますが、断面を斜めにすることでお年寄りの方や、車いすの方が困らないようにバリアフリー仕様になります。

木質化空間



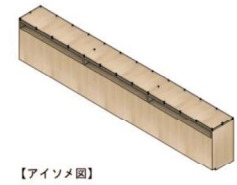
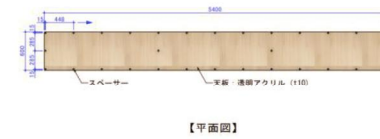
●木の間仕切り

S=1/30 (A3)



●展示台

S=1/30 (A3)



奥の展示台では、木材の加工方法や木材の種類などをパネルで紹介しつつ、実際の加工製品を展示台上に陳列し見て、触って、学んで頂けるようにしております。

仕切りの役目もある腰壁を配置。

直線の木を1度ずつ角度をつけて積み上げていくことで流線形状の実現。

壁面と同様に木材を積み上げているが積み上げ方の違いでそれぞれ違った表現になり、おもしろさを喚起。

左奥には、黒板コーナーを配置し来場者同士のコミュニケーションの場として活用頂きます。